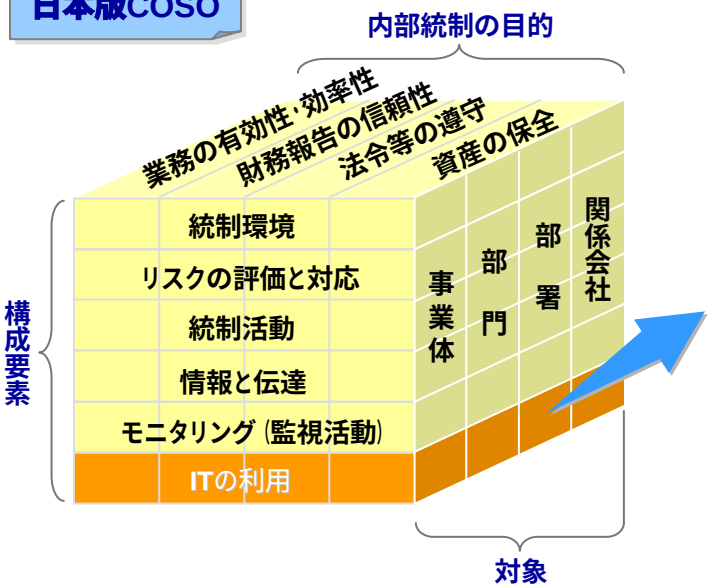
企業の内部統制に欠かせない監査証跡 フォレンジックによる証拠保全

フォレンジックサーバ MSIESER（エムシーサー）のご紹介

リョーヨー
RYOYO ELECTRO CORPORATION

MSIESERは、ネットワーク上の通信を全て記録し、必要なときに解析・復元してネットワーク利用を監視する「フォレンジックサーバ」です。日本版**SOX**法や新会社法で要求されている「**IT**による内部統制」や情報漏えい対策として、「抑止」「監査」「証明」「記録」「証拠」に威力を発揮します。

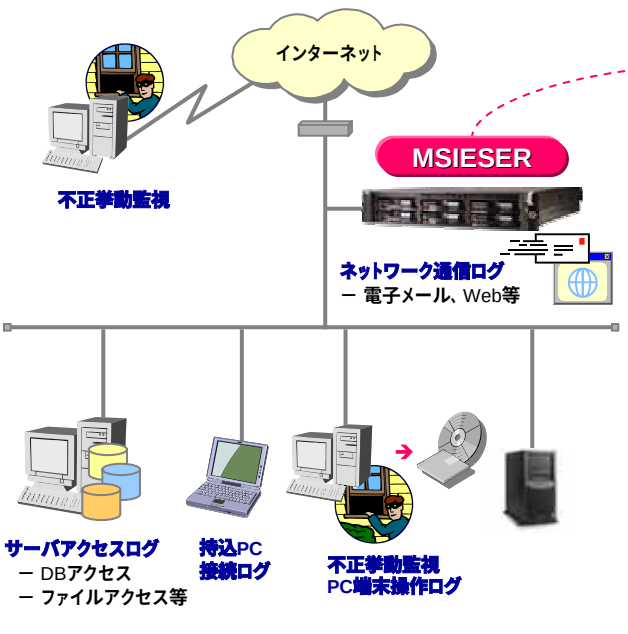
日本版COSO



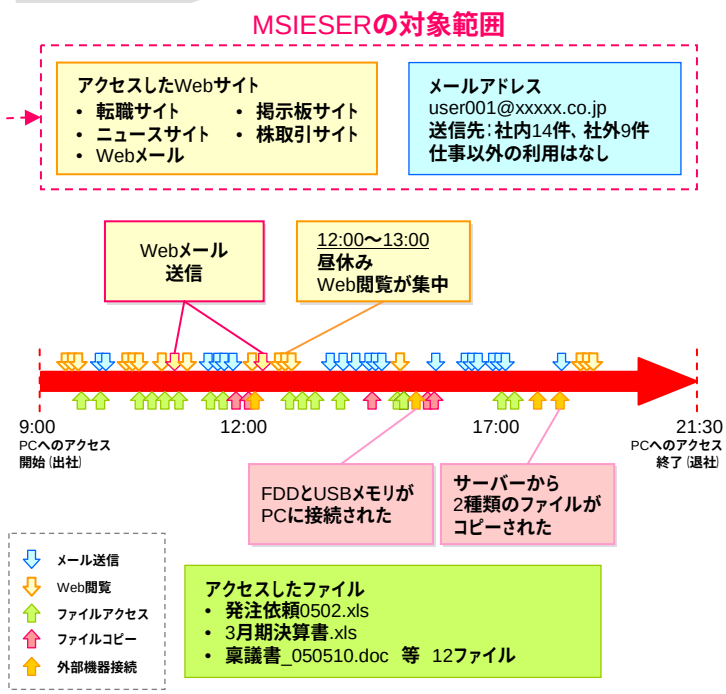
＜日本版SOX法に対応するシステム強化項目＞

1	コンテンツ管理
2	ドキュメント管理
3	セキュリティ対策（アクセス制御,認証,改竄防止）
4	フォレンジックによるログ管理（監査証跡）
5	ビジネスプロセス管理
6	ビジネスインテリジェンス
7	ストレージソリューション
8	システム運用管理

監視・フォレンジック対策



時系列調査



販売特約店：菱洋エレクトロ株式会社　開発元：三菱スペース・ソフトウエア株式会社

MSIESER（エムシーサー）のご紹介

機能

- ネットワーク上を流れるすべての通信データ（パケット）を取得し、長期保存します
- メール、Webによる情報発信内容を記録し、その内容を復元します
- データは暗号化されハッシュ関数を付与し、保存します
- タイムサーバとの同期によって時刻が保証されます

特長

- ネットワークの専門家でなくてもデータの閲覧が容易です
- 既存システムに負担をかけず、ネットワークの構成変更も必要なく、導入も容易です
- 装置へのアクセス権限が3権限に細分化されています
- 記録装置に自由な拡張性を持たせています

効果

- ネットワーク経由での事件・事故が起こった際に、その原因を迅速に調査することができ、企業の信用回復に効果を発揮します
- 誰が、何をしているのか、ありのままに復元するので、ネットワーク経由の不正利用、内部の人間による事件・事故を抑止する効果があります
- ネットワークの利用内容を分析することにより、業務上の改善点を発見できます

MSIESERの活用事例（お客様の声）

- **Web掲示板への書き込み調査**

  自社の誹謗・中傷記事や機密情報を掲示板に書き込んでいる社員を監視しています。中傷記事が出たり、情報が漏えいしたりすると、企業の信用が失墜してしまうため、早急な調査が必要だからです。

- **外部への情報リーク調査**

  発表前の新製品情報を従業員が掲示板に書き込んだり、メールで競合企業へ送ってしまう事件が発生してしまいました。技術情報やノウハウ・顧客情報などの機密情報を漏えいさせないよう、監視を行ってます。

- **社員・従業員の私的利用監査（E-Mail、Webメールなど）**

  就業中のWeb利用、特にWebメールや掲示板への書き込みを監視しています。これらは匿名で情報を送信することが可能であるため、情報漏えいの温床となりかねません。また業務特性上、Webアクセスのフィルタは導入できないので、すべてを記録することによる「証拠保存」と「抑止効果」でセキュリティを維持しています。

- **退職者の過去の発信記録監査**

  退職予定者が転職先に顧客情報などをメールで送ってしまう事故が発覚。競合企業への情報流出を抑止するため、Web通信とメール送受信の監視を行ってます。

- **Web取引における一連の操作内容を証拠として記録・保存**

  オンライン取引での商品取引の操作内容（購入実行ボタンの押下）や取引時間などを記録として保存。
  コールセンターに入るお客様からの問い合わせに対し、画面操作の記録を確認しながら応答しています。

菱洋エレクトロ株式会社
システム情報機器営業第2本部　MSIESERプロジェクト
TEL　03-3546-5040　　FAX　03-3546-5044　　平野、越川
E-mail:motohiro_hirano@ryoyo.co.jp　hiromi_koshikawa@ryoyo.co.jp
http://www.ryoyo.co.jp/